

「川に学ぶ体験活動協議会」活動紹介

NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 斉藤 隆

川に学ぶ体験活動協議会（略称 RAC）は、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的として、平成 12 年 9 月に設立され、平成 30 年 12 月現在 102 団体によって構成されています。

今回も直近の活動報告及び今年度の取組予定についてご紹介致します。

【第18回 川に学ぶ体験活動全国大会 in 小貝川（利根川水系）】

今回で 18 回目となる全国大会は、小貝川下流及び利根川中下流域をフィールドに、メイン会場を茨城県取手市にて 10 月 13 日（土）～ 14 日（日）に開催され、延べ 350 名の方々が参加しました。

初日のプレ・エクスカージョンでは、約 30 年前より続く花の運河（フラワーカナル・秋はコスモス）を馬上から観覧しながら河川をパトロールする「河川騎馬パトロール」体験や「E ボート・ツーリング」が行われました。

全体会の基調講演では、青森大学教授の佐々木豊志さんより、自然体験で子どもが輝くために大切なことをご講演頂きました。スキヤモンの発達曲線によると運動能力と密接にかかわる神経系が 3～5 歳の間に最も発達し、その発達率はおよそ成人後の 80% にも達することや、シュタイナー教育によると、7～14 歳の間に発達する「感情体」の発達には、悔しい、苦しい、嬉しい、楽しい、そして感動をたくさん与えること、喧嘩やトラブルも「感情体」の発達に必要であると。また、子どもが輝く瞬間は、主体的に行動できているかどうかが最も大切だというご紹介頂きました。

その後の全国先進事例発表では、3 つの団体より取組が紹介されました。小貝川では、約 15 年前より「川べりの陸・川・空の三次元を活かして常設的な取組が行われてきましたが、そこに通

う子供たちからの生き生きとした発表は、佐々木先生のご講演の内容を裏付けするような、とても立派な発表でした。

その後の分科会は 4 つの分科会に分かれて、利根川や小貝川の特徴や防災について現地で学んだり、河川騎馬パトロール隊や川の教育力について議論を深める機会となりました。

2 日目の「全国先進事例研究会」では全国から 6 つの団体に「川の教育力」をテーマに発表がありました。その後は、地域交流イベントとして、土のうや E ボート等を活用したチーム対抗競技等に 12 チームが参加し、楽しみながら防災力を向上する経験を得ることが出来ました。

次回の全国大会は、北海道の滝川市にて 2019 年 9 月 13 日～ 15 日にかけて開催の予定です。滝川市は北海道一の大川「石狩川」の流れる地域。そこで長年実践されてきた取組みや石狩川での体験プログラム等に学ぶこと、その地域の方々との交流等も今から楽しみです。

【第16回 RAC フォーラムのご案内 3 / 2～3】

今回のフォーラムでは、1 日目には各地で行われている先進的な活動にじっくりと学ぶ時間を充実させるほか、2 日目には「RAC リスクマネジメント講習専任講師養成講座」等の講座も行う予定です。参加申込方法等につきましては下記 RAC のホームページにてご参照下さい。

- ・開催日 平成 31 年 3 月 2 日～ 3 日（土・日）
- ・主会場 東京海洋大学（品川・越中島キャンパス）

これらの活動を通じ、川のリスクと危険回避の方法が普及され、川での体験機会が増え、川と人々が共存できる「川に学ぶ社会」へ、一歩でも近づくことが出来れば幸いです。

《NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会》

東京都北区田端 1-11-1 勘五郎ビル 104

TEL.03-5832-9841 FAX.03-6893-2642

<http://www.rac.gr.jp>

